

三井記念病院でボランティアチームが院長表彰

三井記念病院
リレーション部シニアマネージャー
千葉 真一

三井記念病院では、病院運営において特に優れた功績を残した部署あるいはチームに対し、毎年度末に院長賞が贈られます。今年は3月22日に表彰式が行われ、院長賞に準ずる健闘賞を、ボランティアチームがいただきました。

『病院ボランティアの皆さまは、当院の「ともに生きる」の理念のもと、患者さんと病院の橋渡し役として、献身的に活動してくださいました。ここにその成果と努力を称え健闘賞を贈ります。』

表彰式は病院会議という病院全部署の責任者が一同に集まる会議の冒頭に行われ、代表として三井V-Netの松田俊秀様はじめ6人のボランティアの方々に、院長から表彰盾が贈られました。



三井記念病院 高
本院長（後方）と
三井V-Netボラン
ティア 松田様



他の表彰者と院長との記念撮影では、皆さま笑顔で納まるなか、ボランティア活動の病院側責任者である私は、涙腺の緩みを抑えるのに必死でした。

いつも患者さんに優しく親切に接していただき、ボランティアの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。これからも患者さんと、そして私たち職員と「ともに生き」ていきましょう。